



↑蔵書検索QR
コードサンプル

図書館だより

宮城県
仙台三桜高等学校
図書委員版 No.8
2023.10.31

「予約」をしよう！

現在、総合型選抜試験関係の図書が良く借りられています。目的の本が見つからない場合は、カウンターで尋ねましょう。

貸出中の場合には「予約」を入れることができます。また、司書から代替資料を紹介してもらうことができます。

新着図書コーナーには、「書店めぐり」で購入した本の他に、旬の本があります。

東野圭吾の『あなたが誰かを殺した』、伊坂幸太郎の『777 (トリプルセブン)』、黒柳徹子『続窓ぎわのトットちゃん』があります。

東野圭吾の本は仙台市民図書館では約650人が予約待ち状態です。



《書店めぐりで選んだ本の紹介》

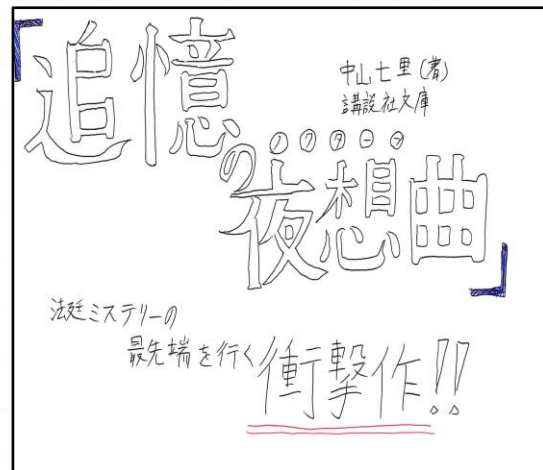
今回は、前号に引き続き、「書店めぐり」で選んだ本の紹介です。図書委員広報係が作成しました。

図書館内と昇降口ホールに、ポップを掲示しています。新しい本に出会える機会です。ぜひご覧ください。

※書店めぐり・・・図書委員が書店で、図書館に入れる本を選ぶ行事。年に2回実施。9月22日に実施しました。

『追憶の夜想曲』^{クタン} 中山七里(著) 講談社
金銭を目的としているベテラン悪徳弁護士。

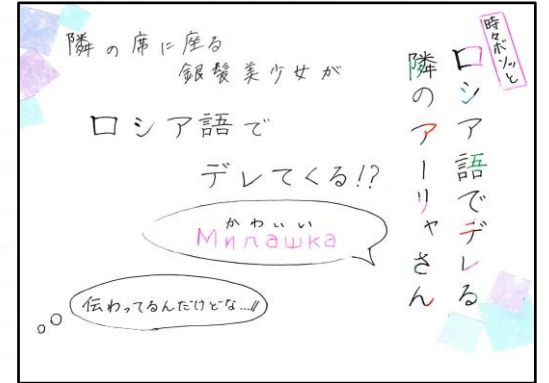
御子柴礼司はある殺人事件の弁護を希望する。その殺人事件に関する真相が徐々に明らかになっていき...



『時々ボソッとロシア語でデレる隣のアーリャさん』

燦々SUN (著) KADOKAWA

政近の隣の席に座る絶世の銀髪美少女のアーリャさん。いつもロシア語でデレてくるが実は政近はロシア語が理解できる!? そんな事も知らないアーリャさんは今日もロシア語でデレてくる...!



『クジラの歌を聴け』田島木綿子(著) 山と溪谷社
動物は、何のために求愛し、繁殖するのか。あなたは どうしてだと思えますか？ この本にはその答えが紹介されています。
動物たちが生き残るための工夫、戦略、努力を知ることで「生きること」はそれだけで大変だけど「生きること」はそれだけで素晴らしいと気づかせてくれます。

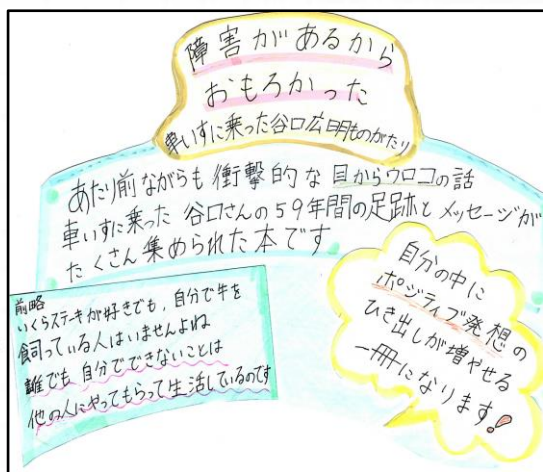


『障害があるからおもろかった-車いすに乗った谷口広明ものかたり』

鈴木 隆子(著) フリエイツ かもがわ

障害を味方につけ、夢を、実現させた谷口さんのメッセージとおもしろいエピソードがたくさん詰った一冊です。

「おもろかった」が実現したのはなぜ?その謎が次々と説き明かされます。谷口さんがあなたをポップな方へと導きます。



『探偵はもう、死んでいる。』

二語十(著) KADOKAWA

～探偵とその助手が紡ぐ物語～
地上1万メートルの空の上から始まる青春異能バトルミステリーです。過去と現在を繋ぐライトノベル作品。



『その生きぐらさ、「かくれ織細さん」かも知りません』

時田ひさ子(著) フォレスト出版

誰もが知っている大物美人に人気者の女性タレント。

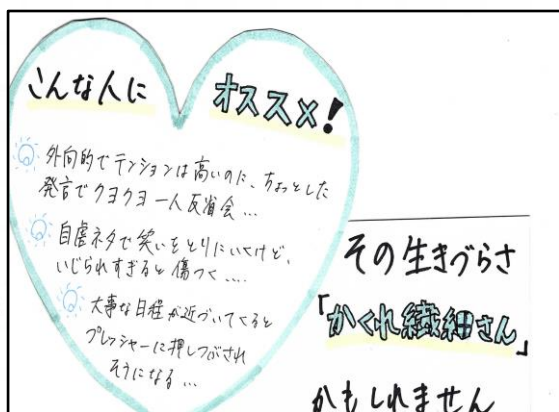
そんな彼らが傷つきやすい

「織細さん」?

意外と知らない自分の事。

この本で知らない自分を発見

してしまうかも!?



『地球にじいろ図鑑』

鉱物×日本の伝統色』

茜灯里(著) 化学同人

この作品は日本の伝統色を鉱物、鳥、植物などとともに紹介してくれる色とりどりの一冊です。ぜひ伝統色の美しさに触れたい。ください。

